

# 提 言 書

高知県内の各地域では、気候変動の影響により激甚化・頻発化する自然災害や、発生 of 切迫度が高まる南海トラフ地震への備えを高めるため、インフラの整備に加え、無電柱化の推進など、住民の命を守りつなげるための取り組みを強化しています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響から、徐々に回復しつつある地域経済を復興させるため、観光の再生や県産食材の消費回復などに全力で取り組んでいます。

道路整備においては、通常予算に加え、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」予算も活用し、高規格道路のミッシングリンクの解消や法面对策、老朽化対策など道路ネットワークの機能強化を推進しています。

このような中、昨年7月には台風4号の影響により、中土佐町の国道56号で、法面崩壊の発生により現道が寸断される事態となりましたが、並行する四国横断自動車道を利用することで早期に地域間交通が確保され、ダブルネットワークの重要性を再認識いたしました。

地域の取り組みと道路整備によってもたらされる効果を早期に発揮させ、先々にわたり確実なものとするとともに、国土強靱化の加速化等による安全・安心の確保、コロナ禍からの回復に向けた地域経済の復興、持続可能な分散型の国づくり、これらを早期に実現させるため、以下の3項目を提言します。

## 一、四国8の字ネットワーク未事業化区間の早期事業化

- ・四国横断自動車道(宿毛和田～宿毛新港)、阿南安芸自動車道(奈半利～安田)

## 一、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源をこれまでのペースを緩めることなく、例年以上の規模で確保し、計画的に事業を推進すること

また、改正国土強靱化基本法を踏まえ、対策期間完了後も、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的・安定的に取り組むこと

## 一、高規格道路のミッシングリンクの解消、四車線化とダブルネットワークの構築及び開通予定時期の早期公表

これらの項目を踏まえ、資材価格の高騰や賃金水準の上昇に対応する中でも必要な道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、国・地方を合わせた令和6年度道路関係予算総額の満額確保を図るよう、お願いします。

令和5年8月10日